

事業番号	事務事業名	木材需要拡大推進事業	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
03759	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	田後 善史
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年度より鏡野中学校に導入する町産材を使用した木の学習機の作成及び新入生(小学6年生)、生徒(中学1、2年生)と組み立てワークショップを開催。令和3年度3月より乳幼児玩具の配布を開始し、令和4年度についても引き続き配布をおこなう	木材の良さを身近に感じふるさとへの愛着を育み、豊富な町産材の利用拡大を図るため、令和元年8月より開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内人工林	ア 蓄積資源量	m ³	見込	6,338,010	6,238,119	6,292,510	7,129,206	7,129,206
			実績	6,238,119	6,292,510	7,129,206		
イ	イ		見込					
			実績					
ウ	ウ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町産材の利用拡大	ア 町産材を利用した製品開発	種類	目標	7	6	4	2	2
			実績	7	6	13		
			達成率	100.0%	100.0%	325.0%		650.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 木の学習機の導入	ア 木の学習機の組立人数	人	目標		324	123	97	100
			実績		324	123		
			達成率		100.0%	100.0%		123.0%
イ 公共施設への導入	イ 町産材を利用した備品	種類	目標		5	0	0	1
			実績		5	0		
			達成率		100.0%	#DIV/0!		0.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業振興費		01	06	木材需要拡大推進事業					03759	
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	284	20,106	5,406	5,140	5,140	-14,700	一般財源	283	19,737	5,092	5,140	5,140	-14,645				
合計	284	20,106	5,406	5,140	5,140	-14,700	合計(A)	283	19,737	5,092	5,140	5,140	-14,645				
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2					
	延べ業務事務時間						40	80	80	82	80						
	人件費計(千円)(B)						140	267	268	281	274	1					
	最終予算額						5,406 千円	予算執行率	94.1%	トータルコスト(A+B)		423	20,004	5,360	5,421	5,414	-14,644
主な支出事業内容(予算)	旅費				0 千円				主な支出事業内容(決算)	旅費				0 千円			
	需用費				4,589 千円					需用費				4333 千円			
	役務費				72 千円					役務費				14 千円			
	委託料				745 千円					委託料				743 千円			

事業番号	03759	事務事業名	木材需要拡大推進事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	森林資源の森林環境譲与税導入に伴う木質化や木製品に対する需要が高まり、関連した木材利用推進に関する補助や条例が新設されている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	令和元年度に森林づくりセンターを開設し、教育機関等他部署とも連携を図り、製品開発、町産材の利用拡大に努めている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	町産材を利用した木の学習机、公共施設へ導入した備品、幼児用玩具を通じて木育に関する意識を高めたとの声が大部分の関係者から寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 これまでは建築利用以外に町産材の利用拡大を図る事業がなく、本事業により新たな需要を生み出している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町産材の利用を促進するためには、素材生産だけではなく、需要を喚起する必要があり、妥当と考える。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象を限定しておらず妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 一層木工事業者を含む林業関係者との協力をおこない、需要拡大に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 森林資源を有効活用し、森林整備を推進するためには、住宅用途以外の木材利用の促進を図る必要があるため、影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 事業を継続しながら、実績を積み上げ、より成果を上げる方法を検討する。
目的 妥当性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 本事業を通じ、他部署や木工事業者等の自発性を高め、町負担を削減しつつ、成果を向上させることは可能と考えられる。
有効性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 本事業を通じ、他部署や木工事業者等の自発性を高め、町負担を削減しつつ、成果を向上させることは可能と考えられる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 対象を限定しておらず妥当である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	木材需要拡大、林業の活性化、普及啓発には本事業を通じた既存製品の木質化や木材による新たな価値の創出が不可欠と考えられ、今後も目的達成のための取組、改善を図る。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							